

大学名 筑波大学

表題 トランスボーダーな大学づくり～国際・学際連携と人材育成の総合支援～

筑波大学は、筑波研究学園都市内唯一の総合大学であり、国際性と学際性に特色があります。筑波大学のURAは、この特色を活かし、① 国際競争力強化のための『国際ネットワーク構築支援プログラム』、② 総合知による分野融合研究を醸成する『「知」活用プログラム』、③ 世界で活躍できる次世代人材の育成として『大学×国研×企業連携によるトッパーナー育成プログラム (TRiSTAR)』を実施し、トランスボーダーな大学づくりの総合支援を行っています。

教育・研究が連動した国際ネットワーク構築支援

国際

筑波大学と協定を締結した13の海外パートナー大学との間で、キャンパス機能を共有し、国境や機能の壁を超えたトランスボーダーな教育研究交流を実現する「Campus-in-Campus (CiC)」の仕組みを導入しています。また、筑波大学は、今年、6大陸にわたる24の総合研究大学からなる研究ネットワーク「Worldwide Universities Networks (WUN)」に加盟しました。このCiC協定やWUNを活かして、世界の研究機関との双方向の研究活動を活性化するためのネットワーク・ハブ機能の構築支援を行っています。その一環として、国際共同研究マッチング・シードファンドによる支援を開始しています。CiC協定校や海外の研究機関のトップレベルの研究チームとの国際ネットワークの創出と加速を通じて、URA、産学連携、国際局、教育などの高度専門人材の支援を受けることで、質の高い国際共著論文などの研究成果の創出や、国内外のグラント獲得、研究人材の育成を促進しています。



海外連携機関

- CiC協定校 (13校)
- WUN : 6大陸, 24の研究大学からなる世界的研究ネットワーク

筑波大学

国内研究機関

- 連携大学
- 筑波研究学園都市研究機関
- TRiSTARコンソーシアム機関

学際

新型コロナ緊急対策から次世代研究助成プログラムへ ～総合知が生んだシナジー効果

https://www.osi.tsukuba.ac.jp/fight_covid19/



2020年4月、筑波大学は総合知を活用した新型コロナウイルス緊急対策のための『「知」活用プログラム』を急ピッチで立ち上げ、27件の研究プロジェクトが始動しました。URAが研究者の情報発信を総合支援する制度設計を行いスピーディな発信が行われたことで、研究者間のコミュニケーションが促進され、大型研究助成の獲得や国際コラボレーションが

実現し、シナジー効果を生み出しました。2022年度からは、文理を越えた分野間融合を実現するため、この手法を継承した幸多き人生100年時代を創る『「知」活用プログラム』を推進しています。

人材育成

産官学連携によるトランスボーダー型研究者育成

<https://tristar.sec.tsukuba.ac.jp/>



文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」として実施する「大学×国研×企業連携によるトッパーナー育成プログラム TRiSTAR」の運営をはじめとした次世代を担う若手研究者の組織的支援を行っています。

TRiSTARプログラムは、大学、国研、企業の25機関の協働によるコンソーシアムによって運営され、「専門深化力」「俯瞰力」「マネジメント力」の3つの力を醸成することで、次世代に活躍する「トランスボーダー型研究者」を育成することをコンセプトとして掲げています。URAは若手研究者が直面する課題や国内外での取組事例等の調査を行い、それらの情報に基づいて企画した講座・イベントや、個別伴走支援を研究者に提供しています。